

びん ヨノ リひ

自らを由とする
ひとたちへ贈る
極私的な旅の記

ソノひびヨリ 2023年 第十号 <早夏期>

発行元
たびたびまたたび プロジェクト
〒530-0041 大阪市北区天神橋一丁目18-27
Tel.06-6351-3474 Fax.06-6351-9364
発行日 2021年 1月5日 (季刊)

企画 たびたびまたたび プロジェクト編集委員会
制作 株式会社アートグローバルファン

WEB <https://sonohibiyori.net/>
<https://www.instagram.com/sonohibiyori>
<https://twitter.com/sonohibiyori>



目次

旅を始める前に 『船旅のスヌメ、海を進め。』

「写して候・寄って候」 天皇御陵踏破の旅 八九代〜九五代御陵

プチモフ動物探訪 長崎県 長崎バイオパーク PAW

ソノひびヨリ 大阪府・岸和田市 『だんじりだけじゃない、岸和田市は観光立国だった〜!』

プチモフ動物探訪 香川県 しらとり動物園 再訪

世界拳闘紀行 第十話 中米 メキシコ・後編

やま道行 2014

ソノひびヨリ 福岡県・北九州市 『名建築をひたすら巡る旅になった、門司港レトロ』

おれがむらただ 六二献目から七〇献目まで

旅を始める前に

第十回 船旅のスヌメ、海を進め。

船旅はいい！なぜ、良いかと言えば「やる事がないからだ(笑)」。なぜ、やる事がないのが良いのか？それは簡単な理由、旅先の目的地までゆつくりできるから。旅の前日には、だいたい仕事を片付ける事に忙殺され、それが終り深夜に旅の荷造り、気が付けば外は明るくなってきた。と、まあこんな悪循環だからなのです(苦笑)。

もちろん、汽車旅の旅情感、飛行機の利便性は捨てがたいですけど、今回の話は「船」です！と言うのも先日、「日本クルーズ&フェリー学会」さんのご好意で「名門大洋フェリー・きょうと乗船会(大阪・南港・福岡・新門司)」にビジターとして参加したからです(笑)。

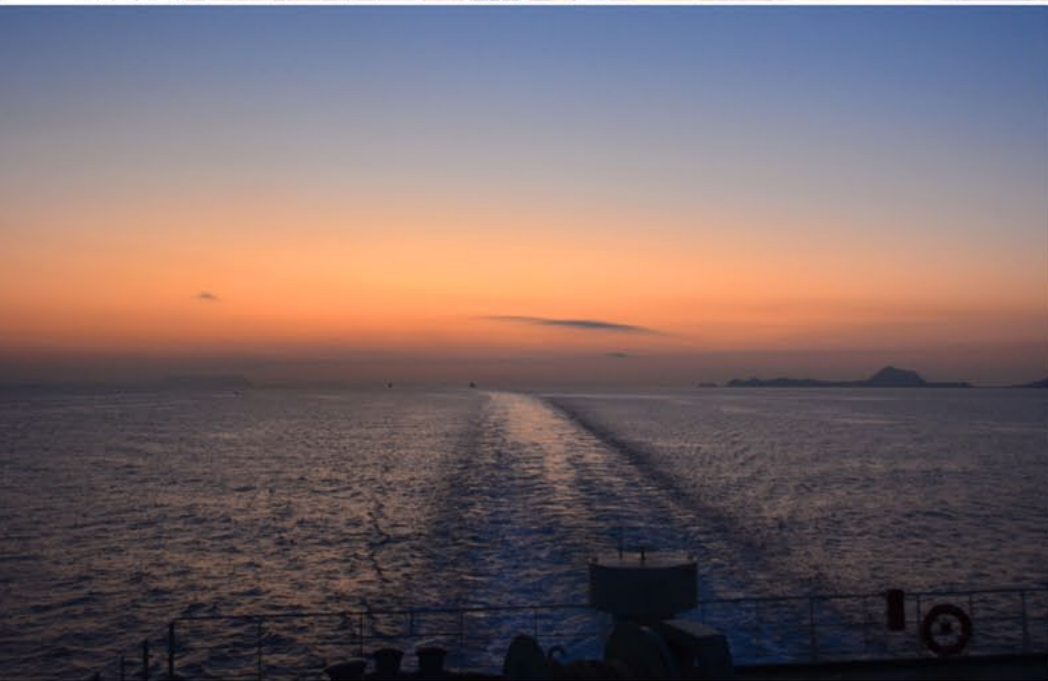
旅に出れば「船」を利用する事が多い、それは今回乗船した大きなフェリーから、離島と離島を繋ぐ高速船や木っ端のような漁船まで多種多様。そんな中で「船旅」が「いいな」と思った切っ掛けが、本島と離島間の連絡船に乗った時の話なのです。

他にも「船旅」の思い出は色々ある、学生時代に田舎に帰るため乗船したときの話だ。航路はまさしく、今回の「きょうと」と同じ瀬戸内航路だった。当時、苦学学生(笑)だった私は、アルバイトを終え出航時間ギリギリに飛び乗った。当然、食べるものも買えないままにだ。

船に乗ってまずやらなければならない事は、二等船室での場所の確保だ！だが、乗船が遅れたので、それぞれの家族や一団の隙間に頭を下げ下げ陣取らして頂くはめになった……。

次にすることは、腹を満たすこと(笑)。近くにいた、おばさんに荷物番をお願いしてスナックコーナー(自販機コーナー)へ向かうのだが……。カップヌードルが全て売り切れ?! 絶望的に自分の陣地に戻るしかない。少しの間、放心状態で過ごしていたら、先ほど荷物をお願いしたおばさんが話かけてきた。『これ、お食べ。あまりものだけだ』、差しだされたものは「おにぎり」だった。おばさんが言うには、『お父さんがやれって言ったのよ』と「あの子、腹が減つと顔をしとる」て『笑いながら』。

あのこと、あの味は今でも、忘れられない思い出だ。



季節は春、卒業旅行のシーズン。私は石垣島から与那国島行き「フェリーよなぐに」で約4時間の船旅を楽しんでいた。船が出航して数時間、石垣島のエメラルドグリーンから濃紺の色に変わるところ、テーブルマウンテンのような与那国島が現れた。外洋の中にぼっかり浮かぶ島だ。

入り江に向かい、着岸するのは「久部良港」、この時に目に飛び込んできたのは大勢の子供と大人が『○○先生、よろこそ○○小学校へ』の横断幕を持ち、楽器を演奏する子供たちの姿だった。「ああ、この船のどこかに赴任(小学校)してくる先生がいるんだ」と、下船後もめずらしいので様子を見ていたのだ。

そして、3日後の石垣島行き(帰路)に乗船する時に、あの一団がまた居ただけ！前回とは違う、新たな横断幕を広げた。そこには『○○先生、ありがとうございました！○○先輩、がんばれ！ファイト!!!』、そして船と陸を結ぶ色とりどりの紙テープ。汽笛が空気を揺らし、ドラの音が天を響かす、それはまるで映画のワンシーンが切り取られたような光景だった。この時から「船旅」に興味を持ち、好きになる切っ掛けになった。

そして、夜に出航する船旅の醍醐味は「夜空」と「日の出」！当然、暗れていなければいけないが。深夜の海には灯りがなく真つ暗、届く光といえば月灯りか、岸近くなら町や工場地帯の灯り、たまに灯台の光線が廻ってくるだけだ。圧倒的に星空を見るにはいい環境が揃っている。それに日の出だ、漆黒の闇の海に光が当りだす様はいつも感動する。夜の大海を航行する不安と孤独から、世界の色を取り戻してくれる瞬間に立ち会える、生きていることに感謝できる瞬間でもある(笑)。

船旅の時には少し眠いかもしれないけど、是非、体験してください。おススメです。

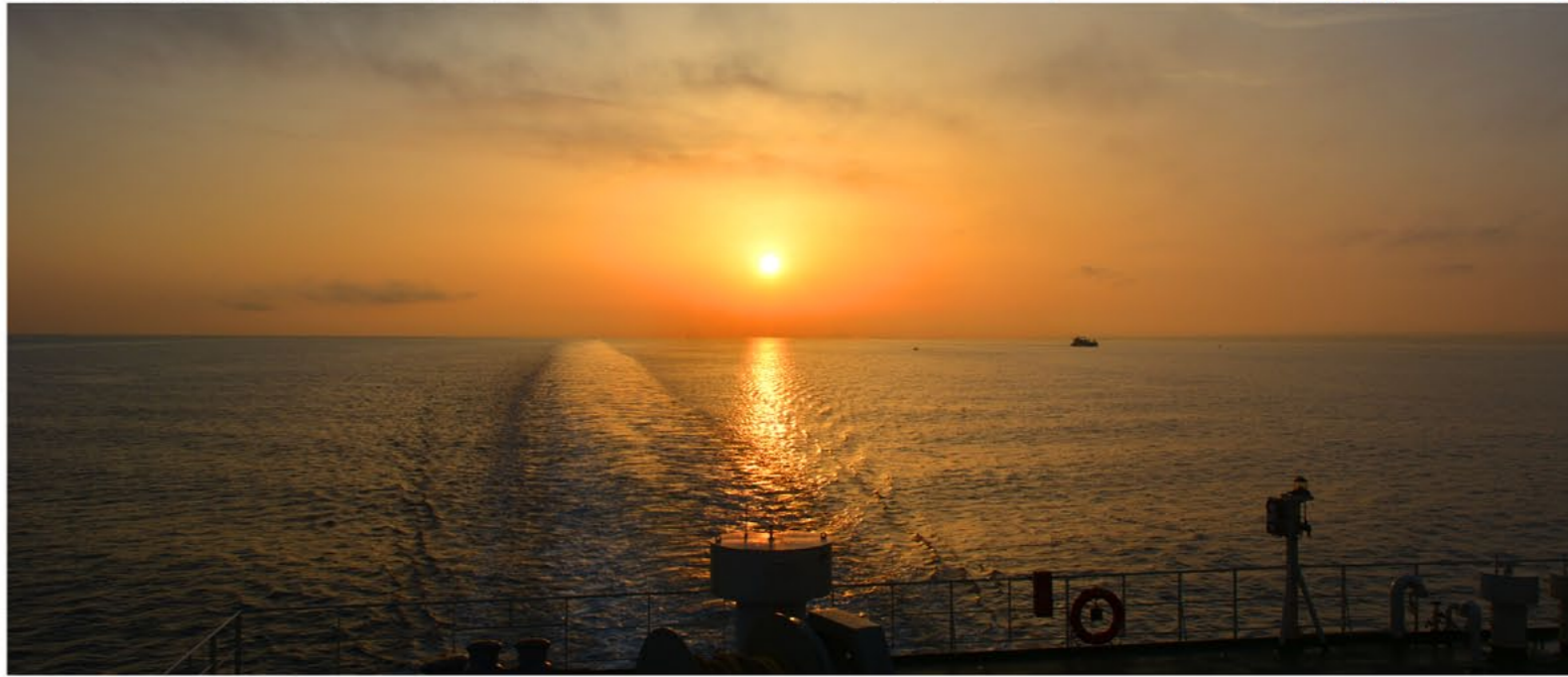
写真
<右>
大阪南港フェリーターミナル「名門大洋フェリー・きょうと」
<左・1列目>
今回の乗船チケットと名門大洋フェリーのパンフレット。
いよいよ搭乗、ブリッジへ向かう。
ファーストルームの個室客室。大きくはないが洗面もある。
<左・2列目>
ビューフェスタイルの食事会場、メニューも多く満足できます。
<左・3列目>
夜の甲板で、本日は満月。
<左・下>
瀬戸内航路の朝焼け、日が昇ろうとしている。

先日、参加させて頂いた「名門大洋フエリー・きょうと乗船会」でも貴重な体験をさせて頂いた。なんと乗船中に2回もの船内ツアーが実施された。「出航前のブリッジ（艦橋）ツアー」と「着岸後のエンジンルームツアー」興味深い話も聞くことができました。

ブリッジでは、目に付いたのが「海図とコンパス」「双眼鏡」等、デジタル制御で動かしているはずなのに、やはり安心・安全を守るには人の目視が必要と言ったことなのだろう。あっ、ただけではなかったです（笑）、神棚には宗像三神の御札が祀られていました。

エンジンルームツアーではエンジニアさんから面白い話が聞けた、「航行中に小さな機械トラブルは常にあり、その都度トラブルを回避（修理）する」と。大きなエンジンの直ぐ側には大小様々なスナヤや工具が置かれていた。

この話を聞いた時、19世紀アメリカ東海岸・捕鯨基地港ニューベッドフォードから鯨油を集める捕鯨船の話思い出した。鯨油を船一杯にするまで航海が続く捕鯨船には、搾った鯨油を貯蔵するために大量の木樽が必要。木樽のままだと場所を取るので「樽を一度バラして」木



材として保管し、必要となれば船員が組み立てるのですが、長い航海のため船の破損も多く、航行中にこの木材を使い補修をしたそうです。いやはや、今も昔も船乗りさんには感心してしまいます。

「船旅」の楽しさが伝わりましたか（笑）。興味を持たれたなら、次の旅には船を利用してください、時間に追われずにゆっくりのんびりと旅を楽しんでください。それに各フェリー会社さんは、多彩なサービスでみなさまの乗船をお待ちしていますよ。

最後に貴重な体験をさせて頂いた「日本クルーズ&フェリー学会」さんに感謝です、ありがとうございました。



日本クルーズ&フェリー学会
http://cruise-ferry.main.jp/

写真
<上段・右より>
艦橋に双眼鏡、船乗りぼくっていいです。操作盤を説明してくれるキャプテン。
動力室では巨大なV12エンジンがあった。
<下段>
瀬戸内航路に日が昇る。

八九代 後深草（こふかくさ）天皇陵

諱 久仁 ひとひと 在位年 西暦一二四六〜一二五九年
陵 方形形堂 皇 居 平安京（京都市上京区）

所在地 深草北陵 京都府京都市伏見区深草坊町
最寄駅 JR奈良線「稲荷」下車、約一三〇〇m、徒歩約一八分。

八九代・後深草天皇は、八八代・後嵯峨天皇の皇子であり、後の北朝（持明院統）そして現在まで続くの皇室の祖である。父の後嵯峨天皇の譲位により数え四歳で即位、在位中は後嵯峨上皇（天皇）が当然のごとく院政を敷き、後深草天皇自身の政は実質なかった。

一二五九年（正元元年）に病を患い、同年に後嵯峨上皇（天皇）の強い要望で、弟の恒人親王（龜山天皇）に譲位する。また、後嵯峨上皇の指示により、年長の後深草上皇の皇子を差し置いて龜山天皇の皇子を立太子させた。ここから、後深草上皇の血統（北朝・持明院統）と龜山天皇の血統（南朝・大覚寺統）の対立、即ち南北の対立が始まっていく。

その御陵は、伏見区深草坊町にある深草北陵。別名「深草十二帝陵」とも称され、北朝・持明院統歴代天皇が葬られている。また、この地「深草山中」に葬られたのは、天皇の生前の希望といわれ深草山で火葬され、真宗院・法華堂に納骨されたとも言われている。



1 JR奈良線の直ぐ横に御陵はある。ここには北朝12代も帝が葬られている。



2 後深草天皇の遺骨を納骨されたという「真宗院」。門が閉まっていた・・・



3 御陵の横にある「深草聖天」、かつて「深草十二帝陵」の管理をしていた。

百舌鳥 古市古墳群 勝手に世界遺産登録記念

還暦前、写真家の「写して候・寄って候」 天皇御陵踏破の旅

鎌倉時代<後期> 八九代~九五代天皇陵

写真取材 赤木 賢二

深草十二帝陵

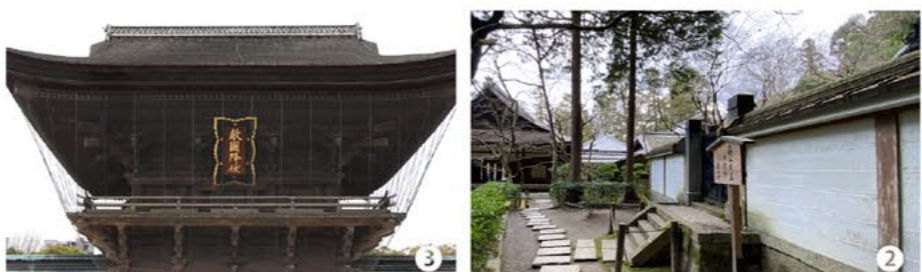
九〇代 亀山(かめやま) 天皇陵
諱 恒仁(つねひと) 在位年 西暦二二五九〜二七四年
形 方形堂 皇 居 平安京(京都市上京区)

所在地 亀山陵 京都府京都市右京区嵯峨天皇寺七馬場町 天竜寺内
最寄駅 京福電車「嵐山」下車、約五〇〇m、徒歩約六分。

父の八八代・後嵯峨天皇の強い要望で八九代・後深草天皇から実弟に譲位し、弟の九〇代・亀山天皇が即位する。父母の鍾愛を受けていた実弟に、余儀無く譲位したことが引き金となり、亀山系「南朝(大覚寺統)」と後深草系「北朝(持明院統)」の対立が始まった。また、渡来した新しい教である「禪宗」などを手厚く保護し、蒙古襲来により消失した宮崎宮社殿(現・宮崎宮)の再興にあたり亀山上皇(天皇)は「敵国降伏」の宸筆を納めたと言われている。御陵は「天竜寺」の父・後嵯峨天皇陵の横にあり、火葬塚も父と同じく「天竜寺」近くの「亀山公園」内にある。火葬された後、三つの寺院に納骨された、その一つが「臨濟宗・南禅寺・分骨所」。



① この横には父の「88代・後嵯峨天皇」があり、親子仲良く並ぶ御陵は微笑ましい。



③ 「宮崎宮」 亀山上皇御宸筆の扁額、「敵国降伏」、また「伏敵門」とも呼ばれている。 ② 「水路閣」で有名な「蹴上」の「南禅寺・南禅院」のわきを抜けると「亀山天皇・分骨所」。

九一代 後宇多(こうた) 天皇陵
諱 世仁(よねひと) 在位年 西暦二二七四〜二二八七年
形 方形堂・五輪塔 皇 居 平安京(京都市上京区)

所在地 蓮華峯寺陵 京都府京都市右京区北嵯峨朝原山町
最寄駅 JR嵯峨野線「嵯峨嵐山」下車、約三〇〇m、徒歩約三分。

九一代・後宇多天皇は、九〇代・亀山天皇の第二皇子で「大覚寺統(南朝)」の天皇。中世期、日本最高の賢帝の一人といわれ、対立していた「持明院統(北朝)」の花園天皇からも「末代の英主」と称えられていた。しかし、晩年には仏道修行(真・崇)への傾倒が強く、政を疎かにしたとも言われている。また、あえて政から離れ、皇子の「後醍醐」に天皇としての威信と経歴を積ませたとも言われている。御陵は、自ら再興した大覚寺殿(大覚寺)で崩御後、そこからほど近い蓮華峯寺の傍山に葬られている。形式は方形堂・石造五輪塔。



① 田圃と竹やぶに挟まれた道から参道入口へ、そこからから100mほどで拜所に着いた。



③ 東福寺境内の南西に塔頭・桂昌院がある。ここに後宇多天皇の菩提所がある。 ② 厳かな御陵だ、日が当たっている時よりも薄曇りのほうが美しく見える。

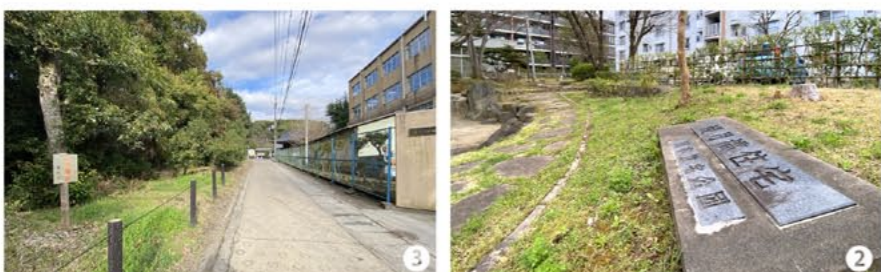
九二代 伏見(ふしみ) 天皇陵
諱 熙仁(ひろひと) 在位年 西暦二二八七〜二二九八年
形 方形堂 皇 居 平安京(京都市上京区)

所在地 深草北陵 京都府京都市伏見区深草坊町
最寄駅 JR奈良線「稲荷」下車、約一三〇〇m、徒歩約一八分。

九二代・伏見天皇は八九代・後深草天皇の第二皇子。伏見天皇は「持明院統(北朝)」の父・後深草上皇(八九代天皇)の働きかけにより、「大覚寺統(南朝)」の亀山上皇(九〇代天皇)の猶子となり親王を宣下し、その後九一代・後宇多天皇の皇太子になった。一二八七年には、後宇多天皇の譲位により即位した。後深草上皇は二年余り院政から退き、実子の九二代・伏見天皇の親政が始まる。これ以後、「大覚寺統」と「持明院統」が交代で天皇を出していくことになる。だが、伏見天皇は自分の皇子(九三代・後伏見天皇)を皇太子に立てたため、「大覚寺統」との間の確執が深まっていく。その後、宮中で「伏見天皇暗殺未遂事件」が起きた、事件の黒幕には亀山上皇がいるとも噂された。御陵は「持明院統」の歴代が葬られている「深草北陵」。



① 「深草北陵」には数回訪問すだろう・・・、アングルを探すのが難しい・・・。



③ JRの線路を挟んでこの辺りまでも「伏見殿跡」なのだろう、宮内庁の立て看板がある。 ② 伏見上皇が院政を引いた伏見跡周辺、今はその一画に公園が建っている。

九三代 後伏見(ごふしみ) 天皇陵
諱 胤仁(たねひと) 在位年 西暦二二九八〜一三〇一年
形 方形堂 皇 居 平安京(京都市上京区)

所在地 深草北陵 京都府京都市伏見区深草坊町
最寄駅 JR奈良線「稲荷」下車、約一三〇〇m、徒歩約一八分。

九三代・後伏見天皇は、父九二代・伏見天皇皇后「中宮西園寺鐔子」の養子となる。わずか二歳で立太子、父・伏見天皇の譲位により、一歳で即位。当然のことながら伏見上皇が院政を敷いた。だが、二代続けて「持明院統(北朝)」が天皇となったため、「大覚寺統(南朝)」は不満を幕府に訴えた。そのため、一四歳で「大覚寺統(南朝)」の後一条天皇に譲位した。御陵は「持明院統(北朝)」の歴代が葬られている「深草北陵」とも称されている「深草北陵」。



① これで3度目の訪問だ、この御陵の撮影はつらい！ この後、伏見殿跡の散策へ向かった。



② 後伏見上皇の女御「西園寺寧子」が上皇の菩提を弔うため、伏見殿敷地内に建立した「大光明寺」。 ③ 同じく伏見殿敷地内にあった「相国寺」。 ④ 相国寺の飛地にあたる「相国寺内・伏見宮墓地」。



ぷちもふ どうぶつ探訪

行ってみた Zoo〜



第13回 可愛い小動物の世界 長崎バイオパーク『PAW』

住所 長崎県西海市西彼町中山郷2291-1
 開園時刻 10:30~17:00 (入館締切16:00)
 入園料 PAW入館料:おひとりさま600円/1時間
 ※3才から有料
 バイオパークセット券:大人 2300円、
 中高生 1700円、3歳~小学生 1300円
 ※セット券は1時間分のPAW入館料を含みます。
 ※駐車場無料

「笑顔の動物たちにグイグイ迎えられる」

長崎バイオパークの入り口横にある「PAW」は雨でも楽しめる屋内型の小動物触れ合い施設。そう聞くと、動物園に付属するよくあるやつ...と思うけど、この触れ合い施設はそうじゃない。館内に入ってすぐ目に入る大きな樹は、いろんな動物たちがいっしょに暮らす「共生の樹」。この世界の動物たちがひとつの地球の上で、一緒に生きていることをあらわして、その樹を囲んで色々な動物が同じ空間に暮らしている。

一歩入ると鳴き声が響く小動物の世界。シバヤギのキャサリンや、モモンマモセットが人間に興味津々で迎えてくれる。飼育員さんから注意事項を聞いてから見学スタート! こどもバイオパークのポリシーと同じ、人間はそっとお邪魔するというスタンスです。

まずは樹の根を囲んで暮らしているモルモット。みんな名前があるけど覚えられない...野菜をあげたり、膝の上にのせたりもできる。ちなみに「PAW」は動物たちの抱っこはできません。動物たちの状況を観察してそっと「なでなで」。あとは動物たちから来てくれるのを待つスタイルです。これ素晴らしい。だからこの動物たちは疲れてません! みんなイキイキしていて、個々の動物が個性を発揮しています! この姿勢って大切ですね。そっと見守って、チャンスがきたらそっと「なでなで」。

樹の上や天井の梁ではワシミズクや、キバタン、タイハウオウム、ヨウムなどが自由に過ごしている。中でもタイハウオウムの「ダイちゃん」は人懐こくて、お客さんの肩にも乗ってくれる。一緒に歌を歌ったり、羽を広げてダンスもしてくれます。グリーンパイソンの「グリコちゃん」も、ニョロ〜と天井の梁を自由に散歩しているからびっくり!

施設内の動物たちのおうちは、全て飼育員さんの手作り。動物の特性を活かせる形に作られていて、小さな環境展示が広がっています。のびのびとした動物たちを見ていると「大切にされているなあ」と幸せな気分がホックリ。「PAW」の展示場には動物愛が溢れています。

「PAW」の奥には、犬と猫の部屋もある。最近同居となり益々賑やかになった。広い庭に続く扉は解放されていて、犬も猫も自由に外へ出られ、時には大きなリクガメも通過! みんな本当のびのびと過ごしている。

「PAW」を知ったきっかけは、この犬たちのお散歩ライブだった。忙しい飼育員さんが、時には歩かない子を抱っこして、全頭ノーリードで自然豊かなパーク内を散歩させている姿に心動かされた。犬種による性格や、表情を見ていると犬の魅力が理解でき、このライブで犬にはまった視聴者は、私を含め少なくないと思う。(気になる方は是非アーカイブで見てください #PAW)

もう一つ、犬がシニアにさしかかると引退させるシステムが素晴らしい。視聴者的には寂しいけれど、犬の余生を考えてのこと。近いスタッフのおうちでゆっくり余生を過ごす子が多いみたいです。接客は人間が思う以上に、犬にストレスを与えてしまう。残りの余生は大好きな飼い主さんを独占して、いっぱい甘えてほしい。

一通り見終えたら、お気に入りの場所に座ってみるのもおすすめです。(料金体系が1時間ごとなので、時間が足りないのですが...) そうすると動物の方から興味を示してくれ、距離が縮まります。

ということで、SNSをきっかけに、長崎バイオパークとPAWを訪れましたが、そこは開園当初からの「動植物本来の生態系に近い環境をつくり上げる」という理念が受け継がれた素晴らしい動物園だった。そして改めて、地球生物の一員として! 動物との共存を考えながら、日々学び、行動していくぞ〜。



1 ゲーグルアースでみれば円形の空堀が囲んでおり、美しい姿。鳥瞰で見られないのが残念だ。



3 拝所に向かい左手、即位することなく薨御した第一皇子・邦良親王の墓がある。



2 今出川通り沿いの、コンビニとマンションの間に参道があった。



1 今日はいつもながら天気が悪い(苦笑)、撮影を止めて近の「知恩院」に寄り道した。



3 JR山陽本線「花園」より、徒歩約5分で「妙心寺」南門へ到着。近い、楽だ(笑)!



2 御陵は参拝時間以外、門が閉まっているので注意です。

九四代 後二条(こじょう) 天皇陵
 諱 邦治 くにはる 在位年 西暦一三〇一〜一三〇八年
 陵 形 円丘 皇 居 平安京(京都市上京区)
 所在地 北白河陵 京都府京都市左京区北白河追分町
 最寄駅 京阪本線「出町柳」下車、約二〇〇m、徒歩約二五分。
 九四代・後二条天皇(南朝)は、二代続いた持明院統(北朝)天皇に不満を持つ祖父・龜山天皇(九〇代天皇)の強い要望により幕府を動かして、九三代・後伏見天皇(北朝)の皇太子となり即位した。即位後は、父の後宇多上皇(九一代天皇)による院政を敷いたが、在位七年にして後二条天皇が崩御した。この後も、持明院統(北朝)と大覚寺統(南朝)の対立が深まり、その矛先は鎌倉幕府への不満となり討幕へと展開していくことになる。
 その御陵は、左京区北白川「京都大学農学部別館」の横にある円形の美しい御陵、宮内庁の形式は円丘。

九五代 花園(はなその) 天皇陵
 諱 富仁とみひと 在位年 西暦一三〇八〜一三二八年
 陵 形 円丘 皇 居 平安京(京都市上京区)
 所在地 十楽院上陵 京都府京都市東山区粟田口三条坊町
 最寄駅 京都市地下鉄「東山」下車、約六〇〇m、徒歩約九分。
 九五代・花園天皇は、大覚寺統(南朝)の先帝・後二条天皇が急死したために二歳で践祚。そのため、父の伏見上皇(九二代天皇)と兄の後伏見上皇(九三代天皇)が在位の前後を分け院政がひかれた。在位一年と若くして大覚寺統の尊治親王(九六代・後醍醐天皇)に譲位した。その後、甥の量仁親王(北朝一代・光厳天皇)を皇太子として養育した。そして、やがて訪れる動乱期に備えるために親王に勉学の必要性があることを説いた。
 また、禪宗の信仰に傾倒し、仁和寺の「花園離宮」を寺に改めて「妙心寺」を開基している。その御陵は、東山区粟田口三条坊町の「皇運院」と「知恩院」の間、華頂山の麓の丘上にある。

ソノビヨリ

Kishiwada City was a tourist country

2023
Apr. 2 day

第二六話 大阪府・岸和田市

「だんじりだけじゃない、岸和田市は観光立国だった！」

関空と大阪ミナミの間に
すごい観光立国「岸和田市」を見つけた！

大阪の繁華街ミナミの最寄り駅のひとつ南海本線「難波」より約二五分、南海本線「関西空港」より約一八分で行ける「岸和田（岸和田市）」。「岸和田と言えば全国的に「だんじり」が有名だけど、それだけではない！大阪観光を終え夕方からの関空発まで少し時間があったら、ならば「岸和田」に途中下車の旅だ（笑）。なぜ、「岸和田」なのか？それは関空からの往路に見た車窓の風景、「岸和田城」の姿があまりにも印象的で美しかったからだ。五時間弱のミニミニ散策の旅に出てみた。

駅下にある「観光案内所」で散策マップを頂いてスタート、目の前のアーケード街に進んでいく。アーケード内の商店街には、老舗だろうと思われる看板を見かけるも、多くがシャッターで閉まっていた・・・（少し残念）。古い写真館のショーウィンドウには「だんじり」の写真が飾ってある。「おお！だんじりの町に来た」実感が湧いた。

少し進めばアーケードの終点、交差点を渡り左にまがれば「かじやまち」。路地の両側には小さな商店が数件あり、ここは「国民的朝ドラ」でロケにも使われている、「かじやまち」の名の通り民家の軒先に「鉄砲鍛冶屋街之跡」と書かれている看板が置かれている。



いがある街道です。

駅より降りたって一時間弱、この辺でお城に向かうことにした。偶然にも、「岸和田市お城まつり」が開催されていた。ちょうど桜も見ごろなのでお弁当でも買って花見と洒落込むことにした。近くで手頃なお弁当屋はないか、携帯で探していると「お弁当・一芳亭」を発見。「一芳亭」を調べてみると大阪で有名な老舗焼売屋さんだ、場所もお城の堀の前であり好都合、そこで買うことにした。

お堀前に店舗を構えているテイクアウト専門店「一芳亭」さん、時間は昼前で多くの注文注文を受けている、大繁盛のようだ。メニューを見れば、「名物・焼売」だけでなくお弁当の種類が豊富にある、「鳥から、焼きそば、酢豚、ヒレカツ、チキン南蛮、豚照り焼き、各弁当」が五五〇〜六一〇円と安い！「悩んだあげく、お弁当は「酢豚弁当（六一〇円）」と鳥揚げ弁当（五五〇円）」それとちろん「名物・焼売」をチョイスした。

花見と言えば、やはりお酒だ（笑）、どこかで買いたいが来た道には無かったので、お弁当を待っているお客さん（地元らしい）に尋ねて「お城の中で出店が出ているから、そこで買えば良い」と親切に教えていただいた。岸和田って怖いイメージだけど（笑）、丁寧親切なホスピタリイな町なんだ！

二の丸広場で花見のあとは、天守で泉州を物見。

お店から道路を渡り、堀沿いに歩けば二の丸跡の「二の丸広場」に到着。先ほど聞いた出店（キッチンカー）が多数出

店をしていて賑やかに「岸和田市お城まつり」が開催されていた。出店でビールを買って満開の桜の下でお弁当を広げる、もう少しお弁当の話（笑）。大阪の焼売イメージと言えは「551蓬莱」、この「一芳亭」さんの「名物・焼売」はそのイメージを変えてしまうほど正対だ！その食感、はソフトでジューシー、噛んだ瞬間に肉汁があふれる！オパーに言うなら小籠包のイメージですね。お味はしつこくなく上品、他にはない美味しい焼売です。来阪時にチャンスがあれば一度、食べてみてください。一緒に買った「鳥から酢豚」にもすごく満足、添え物のサラダなんて「シャキシャキ新鮮」感動のお弁当だった。

お腹もいっぱい！そろそろ入城と致します。このお城は、江戸時代一六四〇年に岡部宣勝が入城以来、明治維新まで岡部氏一三代に渡り城主として岸和田藩を統治していました。その後、明治四年（一八七一年）廃藩置県により廃城、昭和十九年に市民の寄付や旧城主の子孫である岡部氏により再建された天守。

天守の前には国の名勝、砂庭式枯山水庭園の「八陣の庭」がごじまりと可愛くあり（笑）。この庭園は諸葛孔明の「八陣法」をモチーフにして造られているんですって、「知らんけど」（このフレーズよく聞きました・笑）。

城内は資料館になっていて入場料が三〇〇円、天守閣からの見晴らしはなかなかのものです。西には泉州の海、東には葛城山系が広がる気持ちいい風景。風景を愛でていると、南側の堀横に気になる建造物がある！まだまだ、時間があるので行ってみることにした。



天守からは泉州の海が見える	桜に挟まれ大手門	南海本線「岸和田」
「五風荘」の庭園	岸和田城天守前の「八陣の庭」	岸和田一芳亭さんお弁当

岸和田市のシンボル「岸和田城」



第14回

「アフリカ象の『パトラ』来園35年」
しろとり動物園 再訪

住所 香川県東かがわ市松原2111 開園時刻 9:00~17:00 (入園締切 16:30)
入園料 大人1,500円 子供(3歳から) 700円
休園日は不定休 駐車場無料

「パトラさん来園35年！」

大好きなアフリカ象「パトラ」さんが海を越えて香川県のしろとり動物園に来て35年。6月の来園記念イベントを前に、一足早く会いに行くことにした。今回は早朝和歌山港から南海フェリー(約2時間)で徳島港へ行き、路線バスで徳島駅へ(約25分)。徳島駅から特急うずしおに乗り(約30分)合計3時間の旅。しろとり動物園には12時過ぎの入園となった。

パトラさんはしろとり動物園のシンボリック的存在、平日にもかかわらずパトラさんの前ではお客さんの楽しげな声が絶えぬ。早速観舎前に設置されている「エシファントキッチン」でパトラさんのおやつを購入。前回来た時は、特別に近くからおやつをあげられるオプションツアーに参加だったが、今回は柵の外から思い切り手をのびして「はい!どうぞ!」たいていのお客さんは、パトラさんが鼻を上げて大きく口を開いた時に、おやつを投げ入れるスタイル。象さんの鼻先には鼻水(正しい表現ではない)が沢山ついていてしっとりしているから、出来るだけ鼻に触れずにおやつをあげたい人が多いけれど、パトラさんと触れ合いたい私は、とにかく手を伸ばしてがんばる。そうするとパトラさんも鼻を伸ばしてがんばる。手に付く鼻水だってなんのその、心を通わせる至福の瞬間だった。(ハンタイやね)そこで、私:「久しぶりやねえ覚えてる?」パトラ:「覚えとらんけん、はよちょうだい」

この日は夕方までファンサービスに忙しいパトラさん。夕方には耳をパタパタとさせ、嬉しそうに夕飯を食べる姿も見られた。アフリカ象らしい美しい大きな耳と、メスにも見られる牙、時間がたつのも忘れてパトラさんを眺めた幸せな1日だった。中東で生まれ、推定30代後半のパトラさん、お互い元気に一緒に時を重ねようね。

「進化し続けるしろとり動物園」

今回は新設された屋内展示場の「アントピア」と、今回はコロナで入れなかった「にゃんにゃんハウス」も満喫できた。アントピアにはナマケモノをはじめ、アリクイやリクガメ、ワラビー、オオハシなどが所せましと暮らしていて、雨の日も色々な動物と触れ合え、楽しい施設だ。

1年半ぶりに訪れたしろとり動物園は、アントピアが完成し、フンボルトペンギンやカワウソ含もりリニューアルされていた。今回も静かな山の中にある小さな動物園で、動物たちと縁に惹かれづくしの1日となった。みんなありがとう。



おやつパケツには、小松菜や果物、ペレットが入っていて、それを持った人が前に来ると、パトラさんは「あ〜〜ん」して待機。

頑張って受け取ってくれるパトラさん。あげるのが下手でも怒らず何度も取りに来てくれる優しい女の子。



パトラさんが大切にしているタイヤを近くに置いてから夕飯スタート。



新設された屋内展示場の「アントピア」



前回はいれなかった「にゃんにゃんハウス」



「五風荘」の庭園を後にして、再度「紀州街道」に戻って散策がてら駅に戻ることにした。
「紀州街道」沿いには老舗らしき和菓子屋や提灯屋(さすがはだんじりの町)、シャッターが降り閉店しているだろう昭和レトロなお肉屋さんなど、見飽きしない散策にもってこいの道だ。街道近くのお肉屋さんの前でコロッケを食べている小学生、大きな声で歌を歌い自転車で走ってくる中学生の集団、ここは昭和かつて笑ってしまいうくらいノスタルジー溢れる町だ!

そんな一団とすれ違った場所に「きしわだ自然資料館」があった。外観は耐震性のためリニューアルされているが昭和初期のレトロな匂いがする佇まい、本日のラストに入館してみることにした。
一階、入って直ぐに「魚の水槽コーナー」と「ミュージアムショップ」があり、二・三階の展示スペースには入館料200円で展示物を見ることが出来る。一階に券売機があるのでチケットを買って二階へ(JAFカードを持っていると割引があります、親切な職員さんが教えてくれました)。二階へ上がると、象の骨格標本(レプリカ)がお迎えしてくれる。二階の展示物は、岸和田を中心に南大阪・泉州地域の自然を実物標本や模型・ジオラマで紹介されている。それと、ここで生まれた学習プログラム「チリメンモンスター」のコーナーもある。知らなかった、ここが「チリメンモンスター」チームの火付け役に絡んでいたとはビックリだ!そして三階へ、今回の旅で一番驚いたのがこの展示だった。

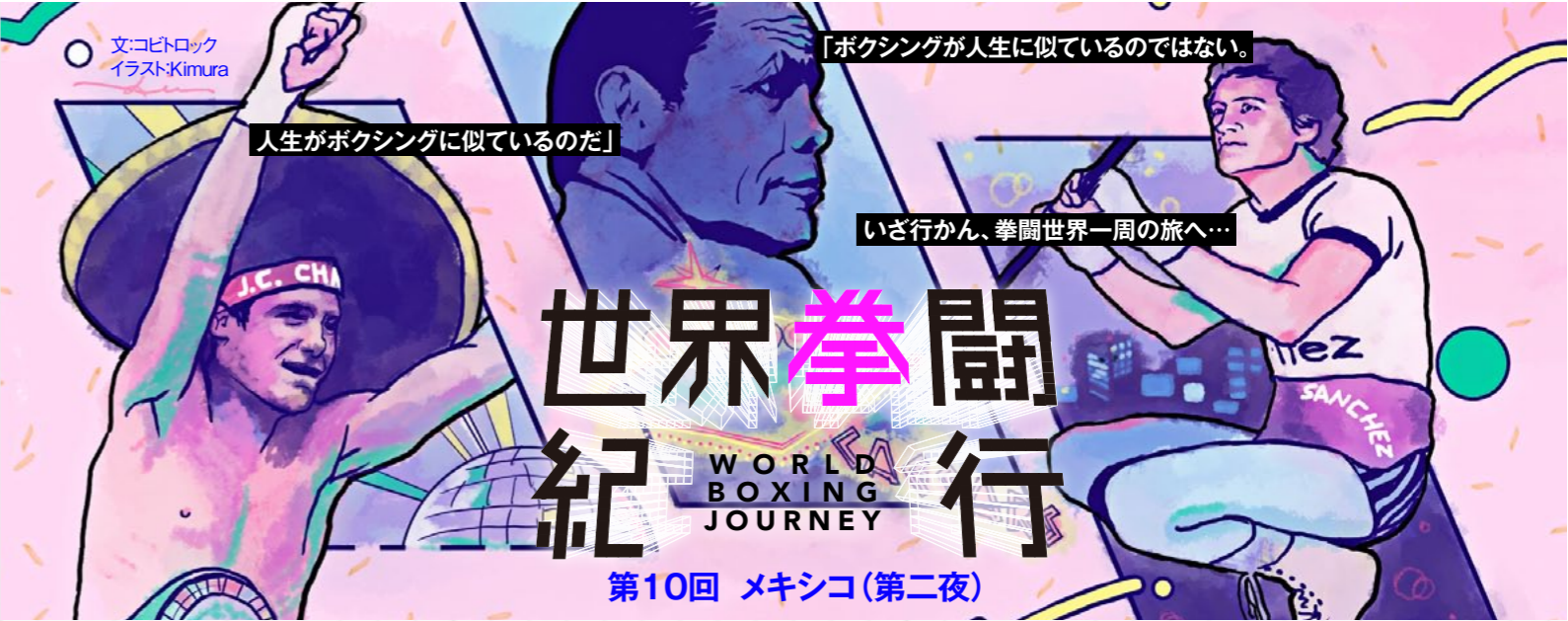


展示ルームに入っただけで、二体のホッキョクグマの剥製が威嚇きみに迎えてくれる(笑)。ライオン、トラ、ヒョウの猛獣たち、ヒクマ、ツキノワグマ、オオカミも、サバンナに生息する草食系動物たちが所狭しと展示されている。
この剥製コレクションは「蕎原コレクション」と言い、蕎原氏が当時の東南アジアの困窮に心を痛め救援活動をしたと考え、救援資金を集めるために「剥製の動物園」的な発想で展示し資金を集めた。当時、動物園には種類が少なかっただろうから、相対めずらしかったと思う。その後、活動を終了岸和田市に寄贈したそうす。
そして、岸和田市は単なる展示ではなく地球環境保護・自然保護の観点からこの「きしわだ自然資料館」を作ったんだって、う〜ん深いな。学芸員さんに聞いたところによると、この剥製たちは全国の施設に貸出されて学習目的で活用されているんですって。
とにかく、凄いインパクトを受け「きしわだ自然資料館」を後にし岸和田駅に向かうのだ。
この小旅行の五時間あまりは、驚きの連続だった。岸和田にこんなにも観光資源があるなんて・・・、おそろべし岸和田、観光立国・岸和田だ! 関空発着で大坂観光その折は、是非、岸和田に足を運んで欲しい、また違う大阪を感じる事が出来るはず。ああ、飛行機の時間が・・・。



3階展示スペース通路に私が座ってます!「ギューっ」て抱きついて大丈夫ですから(笑)

2階展示スペース	東の塔より「岸和田城」
3階展示スペース	きしわだ自然資料館
3階展示スペース入口には	シロクマの剥製がなってます!



世界拳闘紀行

第10回 メキシコ(第二夜)

**自分の青春と被るから
思い入れ強めなんですよね**

第10回メキシコ第二夜。今回は70年代までって括りでしたが、今回は80〜90年代。筆者がボクシングに夢中になった、というか実際にボクシングジムに通ったボクサーだったアマ数戦で引退したけど、時期に重なるから、どうしても思い入れ深すぎるんですわ。いや今までも思い入れだけの駄文ゆえいつもと同じだけどね！

永遠のサルバドル・サンチェスについて

90年初頭、まだ現役バリバリのアズマー・ネルソンを好きになって調べると、ん？最初の挑戦でKO負け！？サンチェスって？しかも王者のまま事故死！大場政夫やん！

さっそくリングジャパンでVHS購入！「永遠のサルバドル・サンチェス」でタイトルでしたな。観まくったが、実は彼の凄さって何故か少し分かったりなかった(自分の見識の低さもある)。普通のランカーに変に善戦を許したり、かと思えば超絶強豪にワンサイド勝ち。強打もカウンターも技術も戦術もスタミナもタフネスも高い水準だけど、どれかが飛び抜けている訳ではない。いや、それらを全て平然と実行完遂するから凄さが目立たない？野球で言う名選手にファイナーなし。みたいな？

あの次代のこの辺の階級では最強。決まり

前回で取り上げたカルロス・サラテ。歴史に

**老け顔？でも実際ヘタランの技巧と
奥深さを教えてくれた**

もう一人、90年代には日本にも縁の深い忘れられない拳豪が。皆大好きダニエル・サラゴサちゃん。いや、今なら大好きって言えるけど、当時は仇敵よ、ホンマ。まず、ルックス(失礼！)もファイトスタイルも全然スタイリッシュじゃない！強くない。勝てそう。

**個人的人生最大のアイドルを
2回も退けやがんの**

その後王座陥落後、3度世界挑戦するも実らず終わった選手感漂つなか、エクトール・サンチェス相手に2対1の判定勝ちで3度目の王座獲得！そして日本で辰吉二郎の挑戦を受ける事になったときも、辰吉の王座奪取回いて雲囲気あつたもん。

しかし試合は、あの非スタイリッシュでスピードも強打もないのに何故かラウンドが進む毎にサラゴサペースになり、終わりはサラゴサ勝利。何故だか強いオッサン(当時38才は超大ヘタラン)翌年も来日して原田剛志に圧勝。

その翌年も来日し辰吉と再戦。流石にファンもサラゴサちゃんの強さが身に沁みてたけど、そ

残る名ボクサー。そんな彼をKOしたウィルフレド・ゴメスは17連続KO防衛のお化け。歴史に残る名ボクサー。そんな彼を一方的に叩きのめしたサンチェス。サラテ<ゴメス<サンチェス。サンチェス優勝！

この試合、初回にいぎなりゴメスからダウンを奪う。その後も淡々とサンチェスペースを進み(ゴメス相手に淡々と自分のペースを進めるのも凄い)、8回に一方的に連打を浴びせて仕留める。つ、ええ。

そして彼は永遠になった

彼は元々、医師を目指していたエリートだったとか(はじめの一步でありましたが、人体の急所とダメージを冷静に医師の視点で見れるのも武器の一つ)。引退後は医者を目指す予定だったという。

**そんな彼をTシャツにしない訳には
いきませんまい！**

彼をTシャツにしようと思いつく人間は世界中に(ごまんといるだろうけど)いや少数派か？、あの特徴的天然アフロヘアは外せないですよ

それでも辰吉は再戦に強いから！って雲囲気あつたもん。試合は、あの非スタイリッシュでスピードも...以下略...終わりはサラゴサ勝利。やっぱり強いオッサン(当時というか今でも39才は超大ヘタラン)

結果、サラゴサちゃんの虜

実はモスクワ五輪のメキシコ代表でベスト8まで行ったアマエリートだとか、弁護士を目指していたとか、名匠ナチヨベリスティンが育てた最初のプロ王者だとか。そうそう、カルロス・サラテの最後の対戦相手だとか。自分の最後の相手は次世代スターのエリック・モラレスだとか。色々興味は尽きんけど、何よりボクシングの奥深さを体現した、よりボクシングを好きにさせてくれたサラゴサちゃんが大好きです。

そんな彼もTシャツ&トスウェットにしちゃったよ！フリーザみたいに時期により変化するサラゴサちゃんの風貌を一枚に集約！(左...中期、中...前期、右...後期)ツラゴサとか言っちゃ駄目よ！



！という訳でキャラクター化しつつも、アフロはしっかり再現した一品でやんすよ！
ところで彼の甥がサンチェスのコスプレみたいな格好で数年前に戦っていたのを覚えているが、ほんのり話題になっただけで消えた？実力の世界。



オールタイムメキシカンPP?

フリオ・セサル・チャベス。どうですか？この名前の神々しさ！彼のファンだからそう思っちゃうだけか？J(ジーザス)C(クライスト)スーパースター！てそれ神の子やん。ろくブルで原付に「チャベス号」で名付けられてたから、ボクシングファン以外も名前は知っていたりする。それくらいお偉大な方。先にサンチェスで述べた「名選手にファインプレーなし」理論。このチャベスにもあてはまると思うんよな。常に強い。常に明白に勝つ。いやもう強過ぎて地味に映るもん。

89連勝って

デビューから無敗で89連勝3階級制覇。はい、もうこの時点で神。んで相手も錚々たる面ビクトル・ラバナレス。もうね。1991年9月17日の大阪城ホールを忘れません。人生における全生観戦史で、この試合を超える(下回る?)お通夜雲囲気はありません。それくらいカリスマ辰吉の勝利以外あり得ないと誰もが思ってたのよ。で、出だしは良かったが、回を重ねる毎にスピードも強打もあるように見えないラバナレスペースに...はっ！この点はサラゴサちゃんに通じる部分。で9ラウンドの滅多打ちの中、吉井会長が投げた白いタオルがリングに舞ったのである。あの後、駅に向かう列が皆が黙りこくって俯いている風景は凄かったな。

あと一人だけ挙げさせてください

再戦も激闘となり、辛くも2対1で辰吉勝利も自分にとっては1991年9月17日だけで殿堂入りメキシカンなのですその後は王座に返り咲く事はなかったが、かのマルケス兄のデビュー戦の相手も務めた(8回KO勝ち)。そう言えは、引退後、日本の総合格闘技の興行に引つ張り出されて大阪プロレスにも所属する村浜武洋と試合してたな...結果は記事までもごさいません。引退後はボクシング以外何も知らないメキシカンあるあるで、人に騙され事業は失敗、困窮しているとか...悲しい。

やつはメキシカンについて語るときりがな

今回もあの選手やあの選手も語ってない。という訳で、それではまた！

々。中でもメルドリック・テラーとの試合は伝説。相手のスピードに翻弄されて始めてとも言える劣勢のまま最終回2分58秒で逆転KO勝ち！
漫画ならあり得なさ過ぎて冷める展開！ちなみにポイントはリードしていたテラーの方が顔はボコボコだったのも印象的。生涯116戦108勝87KO6敗2分。このレベルの選手でこの試合数って、もっ出て来ないかもね。

終わらせ屋さん

1990年にこの日本で最初のタイトルを獲得した事が、寧ろ日本人の誇りになつてるボクサーがあります。勿論リカルド・フイニート。ロベス！
当時を振り返ると、最初から王者の大橋危うし！って報道されてたもん。とは言うものの、勝つんじゃね？程度だったのだが、試合が始まるやいなや、(ヤバ...モノが違う)ってTVの前で思った。でも2回に大橋の右カウンターが決まる！今振り返るとあそこまで綺麗にカウンター貰うロベスもレアだ。その後、打たれて逆に火が点いたのかロベス猛攻！5回KOで大橋散る...。
ちなみに後年大橋会長の談話で、国歌が流れているときにロベスは試合が恐くて泣いてたとか泣いてないとか。

本当はあの時、ロベスはヤバいから別の挑戦者候補も選べたらしいのだが、ロベスを選んでくれた大橋会長ありがとう。あの試合は日本のファンの誇りです。

その強者として戦われない誇り高き意思は、確実に令和のモンスターに受け継がれています。



後を振り返れば・・・、保兄は水浴びする気はないみたいだね。中年男一人で水浴びをするのです。



観光船が帰りました。ただ一人「バラス島」に上陸！ なんて贅沢なんだ！



scene 06 バラス島 (夕方)
昼間とは違いひっそりとしていていいです。紫外線の強い昼間を避けて日差しが優しくなった夕方なのです。



朝日の撮影後に珍客と遭遇。ヤシガニは乱獲のため、個体数が減っています絶対に島の人は獲らないでください。



scene 04 鳩間島
この日は西表の沖合 (北5.4km) に浮かぶ「鳩間島」に移動。



常宿の「池田屋」さんから港迄は、歩いて5分で着く(笑)。だから、起きてそのまま顔も洗わず旭が昇るのを待つ。



scene 02 大原 フェリー乗り場
日が上がる前、島側の空を見上げると神秘的な光の筋を発見！ 太陽は逆向きの海から昇るのに、不思議でしたよ。



あらわれたのはお坊さま？ 司さまじゃない！ てっきり、地鎮祭なので神道系かと思っていたら仏式だった。祭壇のお礼も大日如来だ。



関係者が集まりました、仕事をするか〜。撮影をスタートします！！



scene 07 上原集落 地鎮祭
「上原公民館」跡地で地鎮祭の準備が始まる。こちらの撮影準備OK。



昼間の桟橋。「マイルウゼ」の母屋より眺望です。



いつ見ても、透明度の高い鳩間の海。山や川が無いからですね、昔は真水がなく困ったそうです。



あと2時間もすれば港は「ゆくひと、くるひと」でごったがえす。朝日を浴びるフェリー乗り場。



待つこと3分、日が昇った！ うまく、入道雲をかわしてくれた。



scene 01 南風見田の浜 (東部)
東部地区に来たらここには必ず訪れます、遠浅の海が美しい〜！



scene 08 島ごはん
島での楽しみの一つ、食べ物「島ごはん」ですね。新鮮な海の幸や山の幸、それに島料理、たまに食べたい普通の料理。来島時の参考にしてください。「島魚料理・寿し初枝」さんお前菜盛り合わせ、美しいでしょ〜。



お礼にいただいた、折り弁当です。いつも、お世話になっているのに気を使わせてしまった。いただきます！



高級魚アカハタ「ミーバイ・マース煮」。これ、水と塩(マース)と泡盛で煮るだけなんだけど本当に美味しいです。



次々と観光船が接岸して、人がうようよ〜(笑)。でも、この風景を見たら来たくくなりますよ。



scene 05 バラス島 (日中)
鳩間島から上原港へ、あれ！？ いつもと方向を変えましたね。「バラス島」に寄るんですね！



scene 03 国指定特別天然記念物・カムリワシ
この年の西表旅は「カムリワシ」との遭遇がいつも以上に多かった〜(喜)。いつもなら1・2度、見かければラッキーだけれど、この時写真に納めた個体数は5羽。撮影に手間取って、飛んでいってしまったのを合わせると9羽だった。



静かな風、鏡面になっている水面が神秘的です。



遥か沖合に「ひょっこりひょうたん島」が出現、いえいえ「中御神島」です。よく目を凝らせば見えるはずですよ。



このとき始めて行った西部エリア・星立の大家食堂「しこや」さん。見ためは「八重山そば」とは違うけど、あっさり旨い。



西部エリア・デンサー食堂。ソバも好きだけど、「みそ汁定食」、地野菜たっぷりに玉子まで入っている、贅沢なみそ汁！



東部エリア・大原の常宿「池田屋」さんのはん。ここの売りは「ごはん」です、「これでもか」ってくらいに凄いです。



鳩間島で2泊、帰りも「保兄」の船で西表へ戻るのです。その途中、サンゴでできた島「バラス島」が浮かんでいます、いつもならスルーなんです、この日は知り合いの観光船が浮かんでいた、ちょっと寄り道です。西表に来たのなら、おすすめの観光です。



大原集落の農地で撮影。後姿から振り返ってくれました〜、ちょっとお茶目な正面の顔です。



大原郵便局前の電信柱で風を受けている「カムリワシ」。幼鳥っぽいですが、冠が少し分りますよ(笑)。



岩場に昇り、廃村した「鹿川集落」があった半島方面の一枚。

びよひヨリ

Visit famous architecture

2016

May 11~12 day

第二七話 福岡県北九州市 門司港レトロ

「名建築をひたすら巡る旅になった、
門司港レトロ」



駅を降りれば、「名建築」の宝庫「門司港レトロ」

今回の旅のテーマは「名建築」、とにかくウロウロせずに一エリアで「名建築」を鑑賞したい、そんな物臭にちょうどいい「門司港レトロ」だ。

ここ北九州市・門司港は中世から近代（昭和初期）まで、本州から九州への玄関口で日本とアジアの gateway だった所だから、アジアから船で輸送されてきたバナナを露地で売る「バナナの叩き売り」の発祥の地でもあるんです。当時ハイカラだった街、現在は「門司港レトロ」として明治・大正・昭和の名建築物を残す観光スポット、そんな進街を歩いてみた。名建築の散策は「門司港駅（国の重要文化財）」からの出発だ。この駅は一九一四年（大正三年）に二代目の駅舎として完成した。木造二階建ての西洋風建築。現在の駅舎はこの駅（写真時）をベースにリニューアル（二〇一二年より大補修が始まり、二〇一九年に補修完了）され美しく生まれ変わっている。個人的に昔の駅の方が旅情感があり好きだった。まあ、そんなこんなで歩いていけば、駅から約二分で「旧門司三井倶楽部」に到着。

「旧門司三井倶楽部」も国の重要文化財で、三井物産の社交倶楽部として一九二二年（大正一〇年）に作られた。建築様式はハーフィンパー様式、木造の骨組みを漆喰やレンガで完全に埋めず、表面を残して外観をデザインしている様式なのです。館内にも入館でき、二階にはアインシュタイン博士が一九二二年来日の時に宿泊した「アインシュタインメモリアルルーム」がある。「放浪記」で有名な「林芙美子記念室」も併設。この二部屋の見学には、大人一語〇円の料金が必要。その他の部屋は無料で見られる。※二〇二三年三月まで工事の為休館していたので調べてください。

外観はキレイに化粧なおしされていて味気なさを感じたけど、館内に入ればその時代を感じることもできる名建築物だった。

次に訪れたのは、「旧門司三井倶楽部」から同じく約二分にある「旧大阪商船」。大阪商船は一八八四年（明治一七年）に設立された海運会社で、門司支店として使われていたのがこの建物。一九一七年（大正六年）に竣工した社屋は、当時門司で一番高層のランドマークだった。当時は一階に「待

合室」「税関」の事務所があり、二階は事務室として利用されていた。

設計したのは、大阪・建築士の創始者の存在の「河合幾次」で、構造は煉瓦と鉄筋コンクリート造り、木造モルタル仕上げ。塔屋のデザインは「ゼツェション（セツェション）様式」でまとめられている、八角形の塔屋の部分が特に印象的だ。

「ゼツェション（セツェション）」とは一八八七年にオーストリアで始まった若い芸術家たちの運動で、簡単に言えば過去の建築様式（表現）から分離して、新しい建築様式を創造しようといった活動なのです。

竣工当時は直ぐ横に海があり、大陸に夢を馳せた多くの旅人がここから旅立つて行ったんだろうな。逆に、大陸や欧州からの帰国船は、沖合から「八角形の塔屋」を見つけた時は嬉しかっただろう。

ここで、少し「名建築」巡りをブレイクして門司港駅方面に戻ることになった、戻ると言っても約六分の道のりだけ（笑）。

九州と言えは鉄道王国、門司港駅近くに鉄道の記念館があると知り行くことにしたのです。駅横のロータリから引き込み線沿いに進み、駐車場を横切れば「旧〇哩標」、その横に「九州鉄道記念館」があった。まず目に入ったのは「ごくろうさんよ」と声をかけてくれそうな、蒸気機関車「五九六三四」がお出迎え、その後は「CSO」の姿もある。

蒸気機関車「五九六三四」は北九州地区での可動期間が短かったが、最後まで働いた蒸気機関車。昭和四九年あたり筑豊地区に住んでいた人には、なつかしい車両なのだ！



「旧門司三井倶楽部」外観

アインシュタイン博士が宿泊した「メモリアルルーム」

洋画のフアンシーンの様な「旧大阪商船」

「九州鉄道記念館」入場ゲート

屋内展示の「明治時代の客車」

八角形の塔屋「旧大阪商船」門司のランドマークだった

リニューアル前の「門司港駅」



次に向かうのは「旧門司税関」。「九州鉄道記念館」から「トロッコ並木道」を経由して、入り江の対岸へ歩けば「レトロ中央通り」、その通りを進めば「旧門司税関」に到着。ちなみに「トロッコ並木道」横に線路(門司港レトロ観光線)があり、「九州鉄道記念館」近くの駅から季節限定の「トロッコ観光列車・潮風号」が関門橋あたりの「関門海峡めかり」駅まで運行している。タイミングが合えば乗車をおススメします。楽に関門橋観光ができるから(笑)。残念ながら、この時は試験運行中だった・・・。

さて、本題の名建築に話を戻すと「旧門司税関」は一九一二年(明治四五年)に煉瓦造りで建設された税関庁舎、だが完成後、まもなく火事で焼失・・・。現存する建物が二代目になるのだけれど、昭和二〇年の門司空襲で大きく破損し、その後、長らく倉庫として使われていた悲しい歴史を持つ建築物だ。

二代目「旧門司税関」を建築指導したのが建築家「妻木頼黄」、明治建築界の三大巨匠の一人と言われている人だ。そんな偉い人なのに、現存する彼の監修した建物が非常に少なく、また明治の赤煉瓦建築として極めて優れていることから、残る一部を利用して復元された建築物なのです。

復元には四年の歳月をかけ、一九九五年(平成三年)に「門司港レトロ」と共にオープン、当時の姿で門司港に復活したのです。「一階には「休憩室」「喫茶店」があるので、歩き疲れたらここで休憩するのも良いですよ、吹き抜けの広々とした空間でリラックスできる！でも、私は次へ向かいます。

次は、「旧門司税関」の真向かいの「北九州市大連友好記念館(旧国際友好記念図書館)」。「ここは古い建築物ではないのですが、「門司レトロ」の案内表示にも載っていたのでついお邪魔です。説明によると、かつて遼東半島にある大連市と門司港(門司市)は、国際航路で結ばれていて交流が盛んだった。昭和四五年に両市は友好都市を締結して、その締結一五周年を記念して建てたのがこの「北九州市大連友好記念館」です。そのモデルになったのが、当時、大連市を租借していたロシア帝国が建築(明治三五年)した「東清鉄道汽船事務所」を、そっくりそのまま複製建築されたんですって。なんだか舌足らずの説明で「？」が浮かびます。なんとなくですが、日露戦争で勝利した日本が、ロシア帝国より租借権を引き継いだこと由来がありそうだけれども(まあ、い

いか・苦笑)。書けない複雑な事情があるんだろうね。複雑な事情は置いて、「門司港レトロ」を俯瞰して展望できるタワーに昇りましょう！

展望室はタワーマンションの三階、高さ一〇三mにある「門司港レトロ展望室」！その眺望は、もちろん「門司港レトロ」が一望でき、逆方向に振り向けば「関門橋」が架かる関門海峡の風景が見られる絶景ポイント。ただ、エレベーター代・大人三〇〇円が必要ですよ(笑)。

なんと、このタワーマンションは建築家・黒川紀章さんの設計で、日本夜景遺産事務局がここから見える夜景を「日本夜景遺産」に選定しているんです。お値段も高いんだらうな。タワーを降りると「門司港レトロ」のアトラクション！「ブルーウィングもじ」へ。アトラクションと言っても、ただで渡れる全長約一〇八m、日本最大級の歩行者専用「はね橋」なんです。一日六回、跳ね上がり、橋が閉じて最初に渡ったカッパルは一生添い遂げる「恋人の聖地」にも認定されている。私にはそんなことは関係ないが、跳ね上がる動きはなかなか迫力がある！！

橋が跳ね上がる時間は一〇時、一一時、一三時、一四時、一五時、一六時になっていて、二〇分後には橋が閉じ通行ができます。その橋の快にはイタリア建築界の巨匠アルド・ロッシによって手掛けられた「プレミアムホテル門司港」が佇んでいる。おお、まことに名建築の宝庫だ。

そろそろ名建築を巡る旅も終わりを迎えます。「門司港レトロ」を少し離れた街場を散策すれば、まだまだ多くの名建築が残っています。時間がある旅なら、是非、散策をすればまだまだ名建築を発見ができますよ。



門司名物
6級グルメ「焼きカレー」、
カレードリアとの違いが
分からない(笑)。

「プレミアムホテル 門司港」	幕の「旧門司税関」	「レトロ中央通り」の 「旧門司税関」 夜のライトアップ
歩行者専用「はね橋」 「ブルーウィングもじ」	「北九州市 大連友好記念館」	
「門司港レトロ展望室」から眺望 「関門橋」が架かる関門海峡、本州の下関だ		



酒 / 四季桜 特別純米酒 はなのえん (栃木県)
肴 / くらかけ豆

二献目

宇都宮酒造
四季桜 特別純米酒
はなのえん
原料米 五百万石・あさひの夢
精米歩合 六〇％
日本酒度 十三
酸度 一、五
アルコール分 一六、二％
産地 栃木県宇都宮市柳田町

栃木県
宇都宮市

本日の一献は、栃木の宇都宮酒造さんから「お花見」にぴったりのお酒を紹介。酵母は「明利小川酵母」というものを使用している、華やかな香りとフルーティーな味わいが特徴なのです。まずは常温でいただく、やや辛口の味わいだが、春のような爽やかな余韻が口に残るの、かるやか。
蔵元は、常温がオススメと言われているが、いつもの如く「ぬる燗」で。温度を上げると、さらに華やかな香りが強まり「風流」を感じさせるお酒になった。外で花見をしなくても、このお酒のラベルを見て今宵は花見と洒落込もう！



酒は日本酒、四季など関係なく燗酒一筋。真夏に汗かき呑むぬる燗。真冬に心を解かず熱燗を。一献一合、酒場の隅で旅路を思う。一合一肴の旅に出る。階段昇って席に着く、今日の品書き何だろう、それが本日の目的地。



一合一肴
ITIGOU HITONA



あわす肴

くらかけ豆 四五〇円

華やかな香りのお酒には、邪魔にならない肴がいい。そこで今宵は、大好物の長野県の名産「くらかけ豆」のひたし豆をいただく。乾燥したお豆さんにたっぷりの水で一晩浸かっていたら、次に翌日にも「つけ汁」に浸かる。こんなに水分を含んでいるのか？ ご安心あれ、全くふやけないのです！「カリッ」とした、少し固めの食感がたまらない、お酒の余韻を感じながら頂くには最高の肴だ。

酒 / 純米酒 信濃のかたりべ (長野県)
肴 / 黒キャベツとベーコン煮込み

三献目

大澤酒造
純米酒 信濃のかたりべ
原料米 有機低農薬米「ひとこち」
精米歩合 六〇％
日本酒度 未公開 酸度 未公開
アルコール分 一五、一六％
産地 長野県佐久市茂田井

長野県
佐久市



今宵の一献は、大澤酒造さんの有機低農薬米「ひとこち」を原料米に使っている「信濃のかたりべ」をいただいた。常温での印象は、香りが若々しく爽やかで口当たりの良い純米酒。おスメの温度は上げすぎないのが良いと聞いたので、「人肌」あたりでいただくことにした。温度を上げると「お酒らしいお酒の風味」が出てくる、酸味や甘さは控えめでキレがいいお酒だ。一人で呑む酒もいいが、たまには賑やかな隣席の「かたりべ」の話に耳を傾け呑むのもいいだろう(笑)。

あわす肴

黒キャベツとベーコン煮込み 七八〇円

キレのいいお酒に合わせたのが「黒キャベツ」！？ なんだこれ？ 食べた事がない食材をチョイスした。イタリアのトスカナ地方を原産とする葉キャベツの一種らしい・・・葉の部分には多少苦味があるけど、ことごと煮込んだ某部分は甘くて美味しい。ベーコンの油分をこの黒キャベツでさっぱりといただける肴。「黒キャベツ」で、なんだかタークナ魔女が食べてるイメージだったけど(笑)、「信濃のかたりべ」に語らせれば、ほっこりした日本昔話になる(笑)！



酒 / 都美人 穩坐 山廃仕込純米吟醸無濾過生原酒 (兵庫県)
肴 / 子持ち昆布

四献目

都美人酒造
都美人 穩坐
山廃仕込純米吟醸無濾過生原酒
原料米 山田錦 精米歩合 五五％ 日本酒度 十二
酸度 一、七 アルコール分 一六、一七％
産地 兵庫県南あわじ市横列西川

兵庫県
南あわ



今宵の一献は、兵庫県淡路島の都美人酒造さんからの一本を！ このお酒「都美人 穩坐(おんざ)」は山廃仕込の後、さらに二年間「生」のまま氷温で熟成させて手間隙をかけている。そのため、熟成により磨きがかかり、味わい深い山廃生酒だ。その風味は、熟成酒特有のとろりとした口当たりから、カラメルのような香りがする。旨味と酸味が口内で暴れた(笑)、だけど最後には綺麗に切れていくのだ。でも、それだけで終わらない！ 熟成の余韻が「ずう〜っ」と鼻先に残っている、好みの旨いお酒だ！

あわす肴

子持ち昆布 六〇〇円

好みのお酒に出会えたなら、もうそれだけでいい(笑)。てな訳にはいかず、良くできた熟成酒の邪魔にならない肴を選んだ。それは「子持ち昆布」、呑み後の熟成香の余韻を引きずらず、サッパリとしてくれる。その上、「フチフチ」と食感を楽しめるし、口に残った一粒をベロで探し出し嘔み潰す！ 一人酒には打って付けの肴だ。でも、このお酒の余韻が好きだから、肴より徳利が空になってしまった・・・。



酒 / 開運 赤磐雄町純米酒 (静岡県)
肴 / あっさり厚切りロースとんかつ

五献目

土井酒造場
開運 赤磐雄町純米酒
原料米 赤磐雄町
精米歩合 五五%
日本酒度 +10
酸度 一・六
アルコール分 一五%
産地 静岡県掛川市小貫

本日の一献は、静岡県掛川の上井酒造場さん「開運赤磐雄町純米酒」だ。「開運」っていい銘柄名ですね！
このお酒の原料米「雄町」は、今となればメジャーだけど栽培の難しさのため昭和後期に「幻の酒米」と呼ばれていたらしい。その「雄町」の中でも最上級ブランドの「赤磐雄町」を使い醸造しているのだ。蔵元も「雄町の甘味と旨味を堪能できる味わい」と言っている。その味わいは、山田錦とはまた違う甘味と深みがあり、しっかりとした米の旨味が口内に膨らむ！なぜだか開運しそうな気になるお酒だな。



あわす肴
あっさり厚切りロースとんかつ 九〇〇円

開運するためには「勝負に勝つ！」(笑) 選んだ肴は「あっさり厚切りロースとんかつ」なのだ！
使用しているのはフランスの「ブランド豚」らしい、大将のこだわりがまたでた。

なぜ？ あっさりなのかと聞けば「いい油を使い、衣は薄めで揚げているから」らしい。食べてみると、確かに軽い！お肉は赤身のみなのに、柔らかく噛んだ瞬間に繊維がほどける。それでも、半分越えたくらいでベースダウン・・・すると目の前に小皿を出してくれた、小皿の中身はポンスだ。さすがは大将「これでさっぱりと食べて」と、よし！完食したなら、開運できますかね。



酒 / 酒中存心純米酒 (広島県)
肴 / 常夜鍋

六献目

浪乃音酒造
酒中存心純米酒
原料米 広島錦
精米歩合 六五%
日本酒度 不明
酸度 不明
アルコール分 一五・一六%
産地 広島県東広島市西条本町

本日の一献は、創業一五〇年を迎えた賀茂鶴酒造さんで乾杯だ。その銘柄は「酒中存心純米酒」、なんだか最近一五〇年を迎えるにあたりラベルを変えたみたいですね。個人的にはこのラベルが好きなんですけど(笑)。
このお酒は、温めることにキレが増す「爛上がり純米酒」なのです。そのお味は、希少な酒米「広島錦」の旨味はもちろん、蔵内で熟成させ「ふくらみ」が出る奥深いお酒だ。
裏ラベル(旧ラベル)には「さけのなかにころあり・・・」と記載されています、二〇〇年を目指しこれからもいいお酒を醸造してください！一五〇年に乾杯。

広島県
東広島市

酒 / 大和屋善内山廃純米 (福島県)
肴 / 鯛わた塩辛

六献目

峰の雪酒造場
大和屋善内山廃純米
原料米 五百万石
精米歩合 六〇%
日本酒度 十四
酸度 二・〇
アルコール分 一五%
産地 福島県喜多方市桜方丘

あわす肴
鯛わた塩辛 四〇〇円
優しく柔らかい山廃の酒に合わせ肴は、パンチの効いた「鯛わた塩辛」にした！土佐で言えば「酒盗」で、沖縄で言えば「ワタガラス」、これさえあれば何合でもいける！「ワタ」のクセを「軽やかで呑みやすいお酒」で洗い流し、また一献と今夜も更けてゆく。余談ですが、「酒盗」を「木綿豆腐」に乗せて肴もいけますよ。大将、次にはお願いしますね。



酒 / 純米吟醸おわらの里 (富山県)
肴 / いぶりがっこチーズ

六献目

玉旭酒造
純米吟醸おわらの里
原料米 雄山錦
精米歩合 五五%
日本酒度 十四
酸度 一・五
アルコール分 一六%
産地 富山県富山市八尾町東町

あわす肴
いぶりがっこチーズ 四八〇円
何でも合いそうな「おわらの里」、だけどこのお酒の旨さを感じていたい、選んだ肴は「いぶりがっこチーズ」。熟成香をもっと楽しみたいので、熟成香に近い薫製タクワン、その上には濃厚なクリームチーズ。簡単な肴だけど酒の肴には良く合う、見た目の赤と白がいい！



今宵の一献は、前に一度「玉旭山吹」を紹介した玉旭酒造さんからの一本！前にも書きましたが、「おわら風の盆」で有名な富山市八尾町にある蔵元なんです。約二百年間、地元の人たちに愛されてきた酒蔵です。「おわらの里」その風味は、口に含むと香りもあり呑みやすい綺麗な純米吟醸(もちろんぬる燗で)のイメージだ。だが、その後すぐに「うっすらと熟成した風味」が追いかけてきた。おお！このお酒にか持っている(笑)、好みの旨酒だ。整った綺麗なお酒と思わして、後にアクセントがあるなんて「ニクイよ」。玉旭酒造さん、今宵もありがとう。



あわす肴
常夜鍋 (すみません値段忘れちゃった)
一五〇年間、のんべえに寄り添った酒蔵のお酒に合わせるのには、毎日でも飽きのこない「常夜鍋」。鍋の具材は「葉もの野菜」と「薄揚げ、豚肉」それを薄だし汁で炊き込んだお鍋だ。何度食べても飽きのこないシンブルさがいい。酔いが廻りだし、少し濃いめにしたいなら醤油を「たらり」とすれば味変できる。なんと、便利な肴だろうか。



今宵の一献は、福島県で比較的新しい酒蔵「峰の雪酒造場」さんから「大和屋善内山廃純米」を紹介。昭和十七年の創業、「喜多方」地区では、一番若い蔵として日本酒の醸造を始め、元は「大和錦」という酒蔵(別銘柄)の第三工場として創業したみたいです。若い酒蔵らしく、現在は蜂蜜を原料とした世界最古の酒「ミード酒」、新しい日本酒のシリーズ「ハツキソウ」などを作っていますね。さて、その「大和屋善内山廃純米」のお味は、山廃なのに「柔らかな甘み」と「キレ」がある。山廃が苦手な方にも呑みやすいお酒になっていますね。山廃純米ビギナーにはいいお酒ですよ、一度、試してください。峰の雪酒造場が目指すお酒は「軽やかで呑みやすい酒」、わかる気がした。

本誌からのお知らせ

ソノひびヨリ

次号予告 (7~9月・早秋号)



南小国町「押戸石の丘」

小国町ある、阿蘇ユネスコ・ジオパーク「鍋ヶ滝」



ソノひびヨリ

連載 第二八話 熊本県・阿蘇

阿蘇パワーをいただきます

還暦前、写真家の「写して候・寄って候」

天皇御陵踏破の旅

第十一回 南北朝時代 九六代 後醍醐天皇天皇陵から

世界拳闘紀行 第十一話

おれがむらただ一合一肴 七一献目から

北洋(富山)、義侠(愛知)、大吉野(長野)、鶴の友(新潟)、るみ子の酒(三重)その他



特集

旅でワシが喰らった 駅弁を買って喰らってみる5



SLやまぐち弁当

九州産黒毛和牛・和牛膳

福岡動物園 オラウータン



旅を始める前に

第十一回

mofmof 押し歩き

プチモブ動物探訪行ってみたZOO~
福岡動物園

北の家族

※記事内容は一部変更になる可能性があります。

編集後記

こんにちは！ 今回の編集後記を担当する「駅弁」です。言っときますが、私は駅弁が特に好きな訳でもないのです。ただ、食べる時間がないので便宜上そうしているだけなんです。まあ、これも便宜上、私のことを「駅弁」としておきます。

先日、「G7」開催中に広島へ行った時の話です。いつもの如く、時間が無く列車移動の食事・・・駅コンコースの売店で駅弁を物色、「3番を」「売り切れです」、「じゃあ、1番を」「売り切れです」、「うん・・・、では7番を」「それも売り切れです。この後も、この不毛のやり取りが続いた。聞けば、「G7・報道センター」のケイタリング用に多くのお弁当が押えられているのだそう。とくにこだわらないので、残っている駅弁を購入した。それも広島駅なのに山口県の駅弁を・・・。

おお、つまらない話で行数がいつてしまった(苦笑)。とにもかくにも、国際会議も開催されインバウンド客も増え、ようやく日常を取り戻してきた感じがする。旅の同志たちも精力的に動き出したようだ！ 「天皇陵踏破の旅」の赤木翁は「一〇〇代・掲載記念」として、なにやら特集を企てているとか。

動物好きの「やまんなかタヌキ」さんは、他県の動物園に越境入園を続けているとか(笑)。「おれが、むらただ」の大将さんが、じん帯を損傷し、お店を長期休業したため「取材ができない！」と騒いでいた、「一合一肴」さん。きつと、どこかで吞んでいるだろう。

編集長は、マイレージで予約していた航空券のキャンセルを忘れて、「ちくしよ！、なんで忘れちゃったんだよ。」やはり騒いでいた(笑)。そのそばで、拳闘紀行の「こびとロック」くんが冷やかな目をして薄笑いを浮かべていた・・・。そんなこんなで賑やかにやっています。来月号もよろしくご愛読ください。

編集部一同



酒/昇龍蓬菜 きもと純吟
槽場直詰無濾過生原酒(神奈川県)
肴/アジフライ(大)

六九献目

大矢孝造

昇龍蓬菜 きもと純吟 槽場直詰無濾過生原酒

原料米 まめ農園雄町 精米歩合 五〇%
日本酒度 十五 酸度 二・一
アルコール分 一五% 産地 神奈川県愛甲郡愛川町田代

本日の一献は、特別な栽培の原料米「雄町」を使用したお酒だ。この「昇龍蓬菜 きもと純吟」は、「雄町」米発祥の地、岡山県で「農薬・化学肥料」にたよらない特別栽培に取り組んでいる、倉敷の「まめ農園」さんの雄町を使用している。

無農薬・無化学肥料で栽培された雄町を最大限に引き出すのが「生もと造り」だ。「その風味は、ふくよかであり、澄んだ香り、ちょうどいい酸と旨味が口の中で広がる。後口は「キリッ」と締まる良くてきたお酒。

あわす肴 アジフライ・大 八〇〇円

そんな無農薬な健康志向のお酒に合わせる肴は、真逆のカロリー多めの「大きなアジフライ」を選んでしまった(苦笑)。全長約二〇センチの肉厚のアジをカラッと揚げたフライ、このボリュームの満足度はたまらない！ 添えているタルタルソースもいけれど、やはりウスターソースが一番旨い。若かりし日、角打で食べた小さなアジフライとは違う、機会があれば食べてみてください。この一品で何杯も吞んでしまいますから。



酒/辛口純米酒 若駒(富山県)
肴/そばがき

七〇献目

若駒酒造場
辛口純米酒 若駒

原料米 富山県産米
精米歩合 六五%
日本酒度 十五 酸度 一・八
アルコール分 一五%
産地 富山県南砺市井波



あわす肴 そばがき お試し品のため無料

この旨酒に合う肴を思案していたら、厨房から出てきた大将が「そばがき」を作ったんだけど、試食してみる？」と言ってくれた。「おお、是非、食べる」と答えた(笑)。越中地方の酒には「そばがき」が良く合う(長野もそうだけど)。笑、一口食べるとそばの香りが鼻孔を突く。そば粉を練り、手作りの「そばがき」にソバの実を散らす、のんべえにはたまらないビジュアルだよ。一口食べたなら、芳醇な「若駒」を一献、ちびちびとこの繰り返しを続ける、静かな晩酌になった。